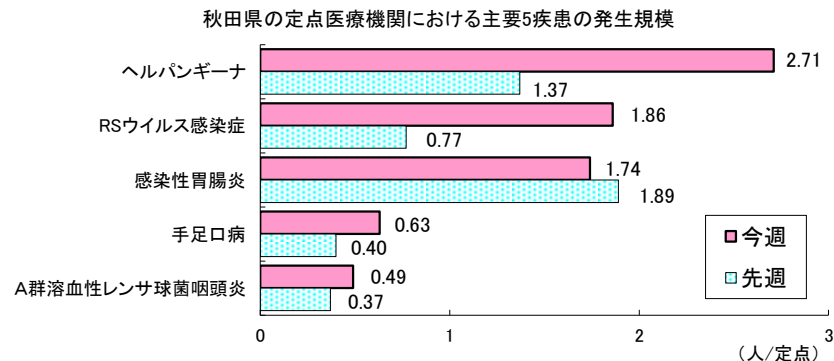




【第35週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

- ヘルパンギーナは、県全体で約2倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、北秋田、秋田中央、大仙、横手、湯沢で増加、能代、由利本荘で減少しています。
- RSウイルス感染症は、県全体で約2.4倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、北秋田、能代、大仙、横手、湯沢で増加、秋田中央で減少しています。
- 感染性胃腸炎は、県全体で8%減少しています。保健所別では、秋田市、北秋田、由利本荘、湯沢で増加、秋田中央で同規模、大館、能代、大仙で減少しています。



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第34週	第35週	増減	第34週	第35週	増減	第34週	第35週	増減	第34週	第35週	増減	第34週	第35週	増減	第34週	第35週	増減	第34週	第35週	増減	第34週	第35週	増減	第34週	第35週	増減			
RSウイルス感染症	0.77	1.86	↗	2.86	5.29	↗		0.75	↗		0.50	↗		0.67	↗	0.50	0.25	↘					1.25	↗	1.00	3.33	↗	0.50	1.50	↗
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱	0.46	0.17	↘	0.14	0.14		1.75		↘	1.00	0.50	↘				0.75	0.75		0.25	0.25							0.50		↘	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.37	0.49	↗	0.86	0.86			0.50	↗		0.50	↗		0.33	↗	0.75	0.25	↘							0.67		↘	0.50	1.50	↗
感染性胃腸炎	1.89	1.74	↘	2.00	2.57	↗	2.25	1.50	↘	0.50	1.00	↗	8.33	5.33	↘	1.25	1.25		1.50	1.75	↗	0.75	0.25	↘			0.75	1.50	↗	
水痘	0.20	0.14	↘	0.71	0.43	↘	0.25	0.25								0.25	0.25													
手足口病	0.40	0.63	↗	0.71	1.14	↗	1.00	0.75	↘	0.50		↘	0.33		↘	0.50	1.00	↗		0.25	↗		1.25	↗		0.33	↗	0.25		↘
伝染性紅斑																														
突発性発しん	0.20	0.26	↗	0.14	0.29	↗		0.75	↗	2.50	0.50	↘				0.25		↘		0.25	↗		0.50	↗						
ヘルパンギーナ	1.37	2.71	↗	0.86	1.00	↗	1.25	3.25	↗	0.50	8.00	↗	6.67	5.67	↘	0.25	1.00	↗	2.00	1.75	↘		0.25	↗	1.67	2.67	↗	0.50	5.50	↗
流行性耳下腺炎	0.09		↘													0.33		↘	0.25		↘									
川崎病	0.03		↘																0.25		↘									
急性出血性結膜炎	0.14		↘							*	*		*	*		*	*								1.00		↘	*	*	
流行性角結膜炎	0.43	0.14	↘	1.00	0.33	↘				*	*		*	*		*	*										*	*		
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎	0.13		↘				1.00		↘							*	*													
マイコプラズマ肺炎	2.50	2.38	↘	2.00	2.00					3.00	6.00	↗	1.00	1.00		*	*		1.00		↘	5.00	2.00	↘	7.00	5.00	↘	1.00	3.00	↗
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。

「\*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

・三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が秋田市保健所管内から4人、報告されました。
・五類感染症のジアルジア症が大仙保健所管内から1人、百日咳が横手保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

Table with 5 columns: 類型, 疾患名, 1週-34週(全国, 秋田), 35週(秋田). Lists various infectious diseases and their counts.

(人)

Table with 5 columns: 類型, 疾患名, 1週-34週(全国, 秋田), 35週(秋田). Lists various infectious diseases and their counts.

トピック

<RSウイルス感染症の流行について>

RSウイルス感染症は、以前は全国的にインフルエンザに先行し、年末をピークに春まで流行が続いていましたが、2016年以降、流行が早まり秋にピークを迎える傾向にあります(図)。今年も、7月上旬から報告数が増加しており、秋田県内でも第27週(7/2~7/8)以降、報告の増加がみられていますので、今後の発生動向にご注意ください。

(参考)感染症発生動向調査 週報(IDWR):2018年第32号<注目すべき感染症>RSウイルス感染症

■RSウイルス感染症とは

その名のとおり、RSウイルスに感染することで起こる小児の呼吸器感染症です。感染すると4~6日の潜伏期間の後、発熱や咳・鼻汁などといった上気道炎症症状が現れます。1歳未満の乳児では中耳炎の合併や、肺炎、気管支炎へと進行する場合があります。さらに、無呼吸発作を起こすなど重症化し、入院が必要となる例も少なくありません。

■予防について

RSウイルスには1歳までに半数が、2歳までにほぼ全ての幼児が1度は感染するとされています。生涯にわたり何度も感染を繰り返しますが、身体の免疫機能によって徐々に症状は軽くなり、年長児以降では軽いかぜ程度で済むようになります。しかし、周囲の乳幼児や免疫力の低下した高齢者への感染源となる可能性もありますので、手洗い等の日常的な予防対策をしっかりと行い、健康管理に気を配りましょう。

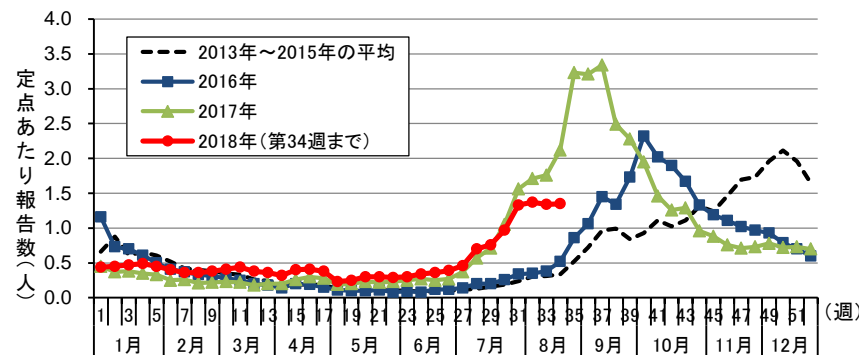


図 RSウイルス感染症の定点あたり報告数の推移(全国)

感染症の集団発生報告

RSウイルス感染症による集団発生報告が2件ありました。

発生届出日 平成30年8月30日
受付保健所 秋田市保健所
施設名称 第一ルンビニ園
有症者数 園児151名のうち11名
把握期間 8月27日から8月30日まで

発生届出日 平成30年8月30日
受付保健所 秋田市保健所
施設名称 秋田婦人ホーム 城南園
有症者数 園児69名のうち11名
把握期間 8月21日から8月30日まで



**【注意報・警報の発生状況】**

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
ヘルパンギーナ	-	北秋田(8.00)、能代(5.67)

■ 注意報・警報の定義

**【注意報・警報の定義】**

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。  
 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	4	7	4	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大湯村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		